

Salon

Vol.132 2021年5月 新緑号



ホール4F壁画 ポール・ゴッアマン作「花とオルレアン」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — 福田進一
- 03 Phoenix Presents — 山中千尋 Jazz Live
ヴァレリー・アフアナシエフ
- 06 Pick Up 檜垣智也アコースモニウムリサイタル
- 07 Essay de say — サティの足跡を辿って 椎名亮輔

若いギタリストの個性が輝いて、 そこに人が集まるようになれば。 福田進一さん



毎年8月、ザ・フェニックスホールで行われているギターフェスティバル「大阪ギターサマー」が、いよいよ11年目を迎える。大阪が生んだ国際的なギタリスト、福田進一をリーダーに、国内外から多彩なギタリストを招聘。彼らと福田とのジョイント・コンサートを軸に、公開マスタークラスやギター・アンサンブルのワークショップを組み合わせた2日間にわたるギターの祭典だ。2010年にスタートしたこのプロジェクトは、現在ギター人口の拡大や若手演奏家の育成など、関西における総合的なギター音楽の拠点へと成長を遂げている。が、おりしも2020年はコロナの年、「大阪ギターサマー」もひと夏の休止を余儀なくされた。そして迎えた今年。これまでの10年を振り返って、福田進一にプロジェクトの成果と課題、次の10年に向けての思いなどを聞いた。演奏家として、指導者として確固とした信念とギターへの献身、そして何よりも若い世代に寄せる期待の大きさが印象的なインタビューとなった。

(取材・文:逢坂聖也/音楽ライター)

Osaka
Guitar
Summer

■ Osaka Guitar Summer 2021

2021年8月28日(土)・29日(日)

8/28(土) 13:00開始

公開マスタークラス聴講&修了コンサート

1日通し券 500円 ※学生券はありません

8/29(日) 13:00開演

ギター・ア・ラ・カルト

一般2,000円 友の会1,800円 学生(25歳以下)1,000円(限定数)

8/29(日) 16:00開演

福田進一&大萩康司 ジョイントリサイタル

一般4,000円 友の会3,600円 学生(25歳以下)1,000円(限定数)

*2日間セット券

一般6,000円 友の会5,400円

<チケットのお求め、お問い合わせ>

ザ・フェニックスホールチケットセンター

06-6363-7999(平日10:00~17:00 土日祝休)

僕とは違った個性の成長が楽しみ

Shin-ichi
Fukuda

大阪ギターサマーの10年を振り返った感慨から。

あつという間でしたね。Hakujuホールとの連携で、いいギタリストがたくさん呼べました。ロマン・ヴィアゾフスキーやマルシン・ディラ、ジェレミー・ジュヴ。彼らは次世代のヨーロッパのギター界を牽引するような存在です。ウィリアム・カネンガイザーは現役の素晴らしいギタリストだし、そんな人々を紹介できたのは本当に大きいと思います。あとお客さまが大阪ギターサマーの公開マスタークラスというものについて、少しずつだけれどもわかってくるようになっていて、公開レッスンは本当に手応えがあつて、来られる方もレッスンを演奏会場で聴くというのが面白いことだつていう風に思っている。それは毎年やるごとに感じています。

関西のギターの水準が上がってきたという実感は？

若い人がしっかりしてきた感じはあります。ただスタープレイヤーが出てきていないので、彼らがもうちょっと自由にというか、変な言い方をすれば暴れてほしいですね。暴れてくれるところにまでは至っていないというのが実感です。でも今、コロナだから暴れようにも暴れられないですね。だからもうちょっと待ちましょつていうところですよ。

コロナの影響はどのように出ていますか？

まずコロナ以前に欧米の状況として、まったく演奏の仕事がないんですよ。クラシックギターを弾く人ほとんどの人は、先生として音楽大学に就職することを望んでいるという現状ですね。多くの人は演奏家になることを考えなくなっていて、そこへコロナが追い打ちをかけた。今や日本が世界で一番ギターが弾かれていると言うか、活気があると言ってもいいほどです。

日本にギターが根付いているとみてよいのでしょうか？

そういうことです。日本に根付いているということです。さらに言うと今、国際コンクールというのがほとんどリモートになってしまった。全米ギター協会(GFA)が主催する国際ギターコンクールというのがあって、それが去年はコロナで非常に危ういというので1次予選はリモートになりました。僕

は審査員長をさせていただいたんですが、結局2次の本選は中止になりました。そうした事情もあって詳しく内容は公表できないんですが、予選の段階でこの大阪ギターサマーにも参加しておられる猪居亜美さんが非常に高い点を取っていて、セミファイナルまで進んでいます。もしあれで本選が開催されていたら、かなりのニュースになっただろうし火付け役になったと思いますね。関西ではこれから彼女が伸びて来るだろうということが、期待の1つになると思います。

愛好者やアマチュアも含めた、ギターを取り巻く環境という点ではいかがでしょう。福田さんは2019年に公開された映画『マチネの終わりに』でギター監修を務められましたが、そのあたりから感じられたことなどはありますか？

手応えはありましたね。一般の人にクラシックギターを知ってもらったことの意味は大きいと思います。今はジャンルの境目がとてもあいまいになっていて、一般の人にはアコースティックギターとクラシックギターの違いがわからないんです。それを監修という立場から、いや本当はこうなんだよ、こういう世界があるんだよということを提示することはできたと思います。こんな素晴らしい音楽があるんですね、クラシックギターのファンになりましたつて言う、お手紙もいっぱいいただきました(笑)。

映画の挿入曲『幸福の硬貨』はたくさんのギタリストの方が弾いています。あのような曲があることでギターへの関心も高まるような気がするんですが。

僕自身はまだステージでは数回しか弾いてないんですよ。映画は福山雅治さんの演奏だから。でも楽譜が出版されたので、それを見て若い人たちがYouTubeなんかでアップしましたね。僕もあの菅野祐悟さんの曲の出来はとても良いと思っていますので、もう少し広めたい気がしています。

今回の大阪ギターサマーのゲストは大萩康司さん。日本人のギタリストとしては2011年、第2回の鈴木大介さん以来2人目です。日本のギターの進化を表しているようにも思えます。

2人とすごいギタリストになりました。彼らには僕と同じだったら生き残れないから、違う個性を

持ったギタリストにならんとあかんよ、ということをやつとやってきたんです。(鈴木)大介はジャズや即興や作曲をやつたりして、彼の個性を創ってきた。大萩も僕とは違う個性を演奏に出すようになってきた。村治(佳織)さんもそう。僕の教え子たちが、それぞれ僕とは違うことをやってくれているのをとても誇りに思います。去年『DUO2(デュオ2)』と言う、以前、僕と村治清志さんでやったような二重奏のアルバムを出しました。今回はそこに大介と大萩が入ってるんですね。すべての曲で彼らの組み合わせがしっかりと成立しているので、非常に満足感の高い仕上がりになりました。

これまで福田さんがやって来られた事が実を結んだ形ですね。

全部をそういう風に行きたいんですよ。今、大阪で育っている猪居謙君や亜美さん、岩崎慎一君や益田展行君、彼らは僕の直接の生徒ではないけれど、1人1人の個性が輝いて、そこに人が集まってくるようになったら僕はもう安心して後を譲れるんですけど…。まだちょっと譲られへんな。だからもうちょっとだけ辛抱していただこうかなという感じですよ(笑)。

コンサートは2日目の8月29日。内容をうかがえますか。

コンセプトは新古典主義。バロックと、バロック風に作られた近・現代の音楽を組み合わせで演奏します。大萩が弾くブローウェルの『ラ・グラン・サラバンダ』は、ブローウェルがギターの中で最大のものにしていて今も書き続けている作品。僕はポンセの『スペインのフォリアによる変奏曲とフーガ』を短いバージョンで弾きますが、これは20曲の変奏とフーガでできた作品で、第二次世界大戦前に書かれたギター曲の中で一番サイズが大きいものです。ともに世紀の初めの方に書かれた規模の大きな変奏曲に2人がチャレンジするというのがひとつ、後半にヘンデルのシャコンヌを演奏するというのもポイントです。この作品ももともとチェンバロの非常に大きな変奏曲なので、2台のギターで弾くのはとても美しいレパートリーとしても重要なものです。きつとお楽しみいただけたと思います。

福田進一(ふくだ・しんいち/ギター) 大阪生まれ。1981年パリ国際ギターコンクールでグランプリ優勝。以後約40年に亘り、ソロ・リサイタル、主要オーケストラとの協演、超一流ソリストとの共演を続け、ボーダーレスな音楽への姿勢は世界中のファンを魅了している。2019年は、3月にモスクワにて国立スヴェトラーノフ交響楽団と武満徹<虹>に向かってバルマをロシア初演。9月に作曲家L.ブローウェルと共に台北国際ギターフェスティバルに参加。また11月公開の映画「マチネの終わりに」(監督:西谷弘、主演:福山雅治、原作:平野啓一郎)では、クラシックギター監修を務めた。ディスコグラフィは既に100タイトルを超える。2021年は、新録音「バロック・クロニクルズ2」や、過去の秘蔵音源によるCDの発売が予定されている。平成19年度「外務大臣表彰」受賞。平成23年度芸術選奨「文部科学大臣賞」受賞。



ザ・フェニックスホール
友の会優先予約
5月21日(金)
10:00 受付開始

イー・フェニックス
E-PHX優先予約
5月24日(月)
10:00 受付開始

一般発売
5月25日(火)
10:00

インターネット予約による
お申込みは5月26日(水)10:00から!

■注目アーティストシリーズ77

2021年10月30日(土)

16:00開演 指定席
一般¥4,500(友の会会員¥4,050)
学生(25歳以下)¥1,500(限定数)

ニューヨークを拠点に世界を駆ける、日本が誇るジャズ・ピアニスト!
山中千尋 Jazz Live

出演 山中千尋(ピアノ)、山本裕之(ベース) ほか(予定) 曲目は当日発表いたします



世界を股にかけて活躍するジャズピアニスト山中千尋は2020年メジャーデビュー15周年を迎えました。メジャーデビュー前の2003年に発売したDVD「Leaning Forward」は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールでのLiveを撮影したものであり、今回はまさに18年振りの凱旋公演となります。山中千尋の音楽はまさに王道のジャズ。演奏曲もスタンダード・ナンバー、クラシック、映画音楽と、ポピュラーな曲を積極的に選曲。はっきりとしたメロディを際立たせながらも縦横無尽にアレンジを施し、独自の色に染め上げます。親しみやすさの中に、ジャズならではの楽しさが加わった山中千尋の音楽世界にご期待ください。

山中千尋(やまなか・ちひろ/ピアノ)

リリースされたアルバムは全て国内のあらゆるJAZZチャートで1位を獲得。米メジャー・レーベルのデッカ・レコードとも契約を果たし、全米デビューも飾った。ダイナミズムと超絶技巧、ジャズの伝統と斬新なアレンジを併せ持つ、今まさに活動の絶頂期を迎えているピアニスト。2020年にはニューヨークアポロシアターでの公演もソールド・アウトとなった。2019年にはサンセバスチャンジャズフェスティバルのトップラインナップに、名門ジャズクラブのロンドンのロニー・スコット、パリのニュー・モーニング等に出演。公演はソールド・アウトとなるほどの評判を博し、英国ガーディアン紙のジャズレビューでも激賞される。第23回日本ゴールドディスク大賞、スイングジャーナル誌ジャズディスク大賞、JAZZ JAPAN AWARDなど権威ある賞を多数受賞。2020年6月にベートーヴェン生誕250周年、チャーリー・パーカー生誕100周年、そして山中千尋デビュー15周年を記念した最新作「ローザ」をリリースした。

ホール主催・共催・協賛・協力公演チケットのお申込み方法

06-6363-7999

土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00

<https://phoenixhall.jp/>

チケットセンターのページからお申込みください

チケットセンター
来店窓口臨時休業中

- ザ・フェニックスホール友の会優先予約
 - ・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
 - ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
 - ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時にお電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。
- E-PHX(イー・フェニックス)優先予約
 - ・E-PHX(イー・フェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
 - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
 - ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話での登録はできません。
- 一般発売
 - ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
 - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

- インターネット予約(主催公演のみ)
 - ・ザ・フェニックスホールホームページ、チケットセンターのページからお申込みください。
 - ・チケット予約フォームに記載のない公演につきましてはおそれ入りますがお電話でお問合せください。
 - ・ホームページ更新の都合により、売切れ表示のない公演でもお申込み時には売切れとなっていることもございます。どうぞご了承ください。
 - ・学生券のインターネットによるご予約は受付いたしておりません。
 - ・チケットご予約フォーム送信後、営業日3日以内に座席の有無、座席番号、入金方法につきまして確認メールをお送りいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続きビル8階のチケットセンター来店窓口を臨時休業いたしております。お客様には大変ご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承くださいませようお願い申し上げます。

チケットお申込み後のお受け渡し方法

電話予約後に郵便振込をしていただき、入金確認後にチケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいでから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律420円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール

■共同主催

主催 コジマ・コンサートマネジメント/あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

2021年11月18日(木)

19:00開演 指定席

一般¥12,000(友の会会員¥11,000)

学生券はありません

出演 ヴァレリー・アフアナシエフ(ピアノ)

鬼才降臨!
ヴァレリー・アフアナシエフ

曲目 J.S.バッハ:平均律クラヴィア曲集 第一巻より 8つの前奏曲とフーガ
 第1番 八長調 BWV846 第2番 八短調 BWV847
 第7番 変ホ長調 BWV852 第8番 変ホ短調 BWV853
 第21番 変ロ長調 BWV866 第22番 変ロ短調 BWV867
 第23番 口長調 BWV868 第24番 口短調 BWV869
 ブラームス:4つのパレード op.10
 ブラームス:2つのラプソディ op.79 (予定)

鬼才、異才、奇才と様々に形容され、もはや存在が伝説化しつつあるヴァレリー・アフアナシエフ。思索の末に導き出された解釈に基づく重々しく悠然とした演奏には多くのファンが心酔しています。今回演奏するのはバッハの平均律とブラームス。バッハについては、1995年に発表されたCDの演奏解釈が賛否を巻き起こしましたが、あれから25年以上が経過した現在、どのようなバッハを聴かせてくれるか楽しみです。ブラームスは、後期作品のCDが有名ですが、今回は大阪だけの特別プログラムとして、初期と中期の作品が取り上げられます。唯一無二の巨匠の演奏をお見逃しなく。

ヴァレリー・アフアナシエフ (Valery Afanassiev/ピアノ)

1947年モスクワ生まれ。1968年バッハ国際コンクール、1972年エリーザベト王妃国際音楽コンクールで優勝。1974年に政治亡命者としてベルギーに保護を求め、現在同国で暮らしている。日本においては1983年にヴァイオリニストのギドン・クレメルとの共演者として初来日。1987年の第3回「東京の夏」音楽祭のソロ・リサイタルでは熱狂的な成功を収め、以来日本へはたびたび来日している。アフアナシエフはこれまでに、みづから執筆した解説を添えたアルバムを約70作リリースしている。現在、ソニー・クラシカル・レーベルと録音契約を結び、6枚組の最新ボックス・セット『テストメント(遺言)/私の愛する音楽』は、2019年度の音楽之友社「レコード・アカデミー賞」(特別部門)に輝いた。2008年には、アフアナシエフのドキュメンタリー番組「漂白のピアニスト アフアナシエフものあはれを弾く」がNHKハイビジョン特集で放送された。



■フェニックス・エヴォリューション・シリーズ97

主催 ミュージサーカス

2021年8月4日(水)

18:00開演 自由席

一般前売¥3,000(友の会会員¥2,700)

当日¥3,500(友の会会員¥3,150)

学生(大学生以下)前売¥1,000 当日¥1,500

*演出の都合上、1階席のみの公演となります。

出演 檜垣智也(アコースモニウム)

アコースモニウム—コンサートホールで聴く極上の電子音響
檜垣智也 アコースモニウム リサイタル
Terra incognita—知られざる大地

曲目 ドニ・デュフル:『知られざる大地』(1998) ※2組のステレオ版・日本初演
 フランソワ・ベール:『影の劇場』(1985) ※日本初演
 檜垣智也:アコースモニウムのための新作

本リサイタルは、アコースモニウムのコンポーザー・パーフォーマーとして国際的に活躍する檜垣智也の待望の単独公演です。アコースモニウムとは「スピーカーのオーケストラ」との異名を持つスピーカーの集合体で、フランス発祥の電子音楽を奏するための装置です。会場のいたるところに設置したスピーカーを合奏させることで、ホールという壁に仕切られた現実空間を、音と想像力によって無限に拡張していきます。プログラムはアコースモニウムを発案したフランスの作曲家フランソワ・ベール(1932-)、その演奏法を確立したドニ・デュフル(1953-)といったこの分野の発展に最も貢献した二人の現代作曲家の代表作と檜垣自身の新作で構成。この装置を熟知した作曲家らによる洗練された空間オーケストレーションを堪能できるでしょう。屈指の室内音響を持ち、空中に浮かぶ美しい劇場として、関西のクラシック音楽シーンを牽引するザ・フェニックスホールが檜垣智也と挑戦する未来のコンサートスタイルにご注目ください。

檜垣智也(ひがき・ともなり/アコースモニウム)

作曲家、音楽家、アコースモニウム演奏家。世界中のアコースモニウムを演奏しながら、創作・研究・教育活動を行っている。ハーバード大学、ケルン大学、Futura音楽祭等で招待公演。フランス国立視聴覚研究所音楽研究グループ、回路の詩神、高橋アキ等から作品の委嘱をうける。3枚のソロCD『Mahoroba』(2011)、『囚われた女』(2015)、『入院患者たち』(2021)。第5回国際リュック・フェラーリ・コンクール最高賞(2003)、第18回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品(2014)など受賞、入選多数。ボンクリフェス電子音楽の部屋監修(2017-、東京芸術劇場)。愛知県立芸術大学大学院修了。博士(芸術工学、九州大学)。東海大学特任准教授、大阪芸術大学大学院客員教授。



©Ryuhei Yokoyama

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛・協力公演のご案内 ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛公演 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”
～関西圏の最大拠点 梅田で展開する藝術音楽～
相愛ソロイスツ

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中 ※友の会割引は前売のみ
2021年6月30日(水) 19:00開演 指定席 前売・当日¥6,000(友の会会員¥5,400)

出演 スワヴォミル・トマシク、田辺良子、大谷玲子(以上ヴァイオリン)、竹内晴夫(ヴィオラ)、上森祥平(チェロ)、井上麻紀(ピアノ)
曲目 シューベルト:弦楽三重奏曲 第2番 変ロ長調 D581
シューマン:ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44
コヴァルスキ:ポーランド風協奏曲



ポーランドの名手 スワヴォミル・トマシクと共に相愛大学が誇る名プレイヤーによる室内楽特別演奏会。

協賛公演 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”
～関西圏の最大拠点 梅田で展開する藝術音楽～
松浦奈々のモーツァルト & R.シュトラウス

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中 2021年7月14日(水) 19:00開演 指定席 前売・当日¥4,800(友の会会員¥4,300)
7/28「伊藤恵(ピアノ)」との連続券¥9,300(友の会会員¥8,500) ※友の会割引、連続券は前売のみ限定数

出演 松浦奈々(ヴァイオリン)、坂野伊都子(ピアノ)
曲目 モーツァルト:ヴァイオリンソナタ 変ホ長調 K481、ヴァイオリンソナタ 変ロ長調 K378
R.シュトラウス:楽劇「ばらの騎士」より“ワルツ”(ヴァーシャ・ブジーホダ編)、ヴァイオリンソナタ 変ホ長調 op.18



ザ・フェニックスホールでのベートーヴェン&ブラームス:ヴァイオリンソナタ全曲演奏会で新たな境地を切り拓き、多くの聴き手を魅了して止まない名手!

©Yoshinobu Fukaya, Aizawa, Y2

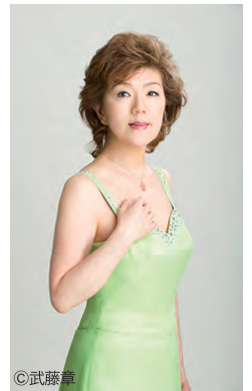
協賛公演 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”
～関西圏の最大拠点 梅田で展開する藝術音楽～
伊藤恵(ピアノ)のベートーヴェン & シューベルト

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中 2021年7月28日(水) 19:00開演 指定席 前売・当日¥5,000(友の会会員¥4,500)
7/14「松浦奈々(ヴァイオリン)」との連続券¥9,300(友の会会員¥8,500) ※友の会割引・連続券は前売のみ限定数

出演 伊藤恵(ピアノ)
曲目 シューベルト:12のドイツ舞曲 op.171 D790、楽興の時 op.94 D780
ベートーヴェン:ピアノソナタ 第14番 嬰ハ短調「月光」 op.27-2、ピアノソナタ 第28番 イ長調 op.101

超難関ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ部門で日本人唯一の第一位受賞者(1983年)。サヴァリッシュ、フルネ、朝比奈などの巨匠たちとの数多くの共演でも知られる名ピアニスト。



©武藤章

協力公演 《生誕100年記念》
命日に贈る ピアソラ・ナイト!!

主催 大阪アーティスト協会

発売中 2021年7月4日(日) 17:00開演 自由席
前売¥4,000(友の会会員¥3,600) 当日¥4,500(友の会会員¥4,050)

出演 八幡順、木村直子、根来潤子(以上ヴァイオリン)、白木原有子(ヴィオラ)、木村政雄、大町剛(以上チェロ)、南木優子、初瀬川未雪、宮崎剛(以上ピアノ)、辻本剛志(サクソフォン)、藤溪優子&熊谷啓子(ピアノ連弾)、野津臣貴博(フルート)、亀井貴幸(ギター)

曲目 ピアソラ:「タンゴの歴史」、オブリヴィオン、ル・グラン・タンゴ、デカリシモ、ブエノスアイレスの冬、鮫、天使の組曲、ブエノスアイレスの午前零時、アディオス・ノニーノ、レのミロンガ、ブエノスアイレスの夏、リベルタンゴ

協力公演 サマーミュージックフェスティバル大阪2021

主催 大阪アーティスト協会

サン=サーンス没後100年、ストラヴィンスキー没後50年《同じ“S”でも大違い!》

発売中

2021年8月1日(日) 17:00開演 自由席
一般前売・当日¥4,000(友の会会員¥3,600) 学生(小中高生)前売・当日¥2,000

出演 佐久間優、山中由美子、太田真佐代、宇田奈津美、濱田圭(以上ギター)、大江浩志(フルート)、小林千晃(オーボエ)、福井聡(クラリネット)、日比浩一、佐野智子、八幡順(以上ヴァイオリン)、原真奈美、松村敬子、松村英臣、磨椋平(以上ピアノ)

曲目 サン=サーンス:オーボエとピアノのためのソナタ 二長調 op.166、ヴァイオリンソナタ 第2番 変ホ長調 op.102
アーノルド:幻想曲、ディヴェルティメント、クラリネットとピアノのためのソナチネ
ストラヴィンスキー:クラリネット独奏のための3つの小品、イタリア組曲、火の鳥(アゴ스티編)
ファリャ:スペイン舞曲 第1番
ピアソラ:タンゴの歴史

「友の会」提携店のご案内

「友の会」の会員様にご利用いただける提携店が増えました。ザ・フェニックスホールから徒歩3分、好立地のホテルです。どうぞ、ご利用ください。

ホテル エルシエント大阪



サービス内容

基本ご宿泊料金が10%割引
ゲストラウンジ・バータイムのご飲食10%割引

*ご飲食は、宿泊されないお客様もご利用いただけます。

〒530-0057 大阪市北区曽根崎1-2-7 TEL 06-6360-2200
ゲストラウンジ・バータイムの営業時間17:30~23:00
(ラストオーダー 22:30)*諸事情により営業時間が予告なく変更になる場合がございます。
予め確認のうえご利用いただきますようお願いいたします。

ダイナミックキッチン&バー 燦 大阪 2021年5月1日からサービス内容が変更になりました。

(旧)ご飲食10%割引 ▶ (新)ディナータイムのファーストドリンク1杯サービス(生ビール or ソフトドリンク)

Salon

アート・イン・フェニックス

ポール・ギアマン作「花とオルレアン」

ホール4F壁画

タイトルの「オルレアン」とは、フランスの愛国的少女のことを「オルレ안의乙女」と呼び、フランス人のギアマンが愛国心をさりげなくタイトルにした作品です。美と平和のシンボル、花束と少女は幸せの象徴だといえるでしょう。

詩的情緒溢れる作風は、彼の明るく知的な人柄から生まれており、歴史、文学、音楽通であり、食通でもあったギアマンは、人生の優美な面、魅力あふれる面、幸福な面だけを見て終生作品を描き続けました。具象絵画でありながら不思議な幻想感はずかぬ温まり、見るものを惹きつけてやみません。

※「オルレ안의乙女」:ドイツの詩人、劇作家シラーの戯曲。1801年初演。イギリスの進攻からフランスを救ったジャンヌ・ダルクの伝説を劇化した作品。



サティの足跡を辿って

— 椎名亮輔



2020年3月にパリでの講演を依頼されたので、せっかくだから執筆中の本の主人公、エリック・サティの足跡を辿ってみることにした。彼はパリ生活の当初はキャバレーのピアノ弾きをして生計を立てており、仕事場に近いモンマルトルに住んでいたのだが、お金の困って、夜逃げ同然に家賃の安いパリ南郊アルクイユに引っ越している。アルクイユへは郊外線のRER・B線が通っている。現在ではごく普通の通勤電車である。朝夕は大変に混雑するので、まずは昼の間にこちらから出発することにした。

サティのアルクイユの家は、駅で言うところのラプラス駅と南にあるアルクイユ＝カシャン駅の中間にある。そこでラプラス駅で下車して歩くことにする。駅の出口から線路下の道路をくぐって反対側に出る時に、その橋桁の一面にアルクイユにゆかりのある有名人の紹介ポスターがあり、サティもその中に入った。そこからごく普通の郊外住宅街を南の方に線路に平行に進んで行く。パリ市内はほぼ平坦なのに比して、ここは南に行くに従って地面は低くなっていく。しかし全体的にはパリ市内が近郊よりも低く、盆地になっているはずなので、これは南にある蛇行したセーヌ川の河岸段丘にでも当たるのだろうか。下がっていく視線の先にローマ時代の水道橋が屋根の上に遙かに見えてくる。サティの家はそこまで行く途中であって、三叉路のちょうど別れるところで頂点を平に切られた三角形をしている。黄色く塗られていて非常に目立つ。壁の二面にはサティの家



であったことを知らせるパネルが嵌め込まれている。南に目をやると、彼がよく付き合っていた友人たちの家のあった通りがすぐそこに見える。向こうには空に大きくかかる水道橋。サティがこの水道橋について一言も残していないのが不思議なくらいだ。

パリ市内にはアルクイユ＝カシャン駅から電車に乗った。モン

マルトルのある9・18区あたりには、北駅で下車して西向きに歩ける距離だ。サティが勤めていた〈黒猫軒(シャノワール)〉や〈釘亭(オーベルジュ・デュ・クルー)〉はモンマルトルそのものというよりは、その丘の麓(モンマルトルは丘になっている)の歓楽街ピガールに近い。〈黒猫軒〉はもう跡形もないが、〈釘亭〉はレストランになって最近まで続いていたようで、店の看板が残っていた。サティの最初のアパートマンはそれらと本当に近い場所にあった。ちょうどその建物の入り口から出てくる人がいたので、ちょっと会釈して無断で入らせて貰った。中は迷路のようになった、いくつもの建物の繋がった回廊が張り巡らされている。ここは家賃が高くてすぐにサティは丘の上の極小アパートマンに引っ越した。だからここにはサティについては何も残っていない。



その極小アパートマンはピカソの友人が絵画として残している。暖炉と簡易ベッドと机しかない。でも場所としてはモンマルトルの一等地で観光客も多く通っている。道よりも両側の家々の基礎が高い位置にあるのは、おそらく丘の中腹を切り開いて道がつけられたからだろう。サティがこの家に1890年から1898年まで住んでいたことを記した、立派な表示板も掲げられていた。もう時間も夜になっていて、そこから下のメトロの駅まで降りていく道は人影もまばらだった。

こうしてサティの足跡を辿ってみてわかったのは、彼の行動範囲がごく限られており(彼はアルクイユでは地域活動に積極的に関わっていた)、その内部に多くの友人たちを持っていたことだ。奇人変人としてサティは有名だけれども、実際には、冗談で人々を笑わせることが好きで、友人たちと過ごす時間が大好きな「さみしがり屋」だった一面がわかる気がする。

椎名亮輔 (しいな・りょうすけ) / 同志社女子大学教授
 東京大学大学院博士課程満期退学。ニース大学哲学科博士課程修了。東京大学助手、パリ第3大学講師、リール第3大学講師をへて、現在は同志社女子大学教授。著書に『音楽的時間の変容』(現代思潮新社)、『狂気の西洋音楽史』(岩波書店)、『デオダ・ド・セヴラック — 南仏の風、郷愁の音画』(アルテス・パブリッシング、第21回吉田秀和賞受賞)。主要訳書に、マイケル・ナイマン『実験音楽』(水声社)、ジャクリーヌ・コー『リュック・フェラーリとほとんど何も無い』(現代思潮新社)などがある。



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。
 〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211
 Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2021年5月
 発行 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
 編集 上田英司
 デザイン 松井桂三有限公司

